

長生郡市広域市町村圏組合地域防災力向上計画

1 共助の取組

発災直後の自助の取組に加えて、地域のつながりにより自発的に救助活動や消防活動を行う消防団など地域コミュニティにおける防災体制を充実させることも重要である。

(1) 消防団の活動促進

① 現状及び課題

東日本大震災をはじめ過去の災害教訓を踏まえ、地域における防災体制の強化を図る為、茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町で構成される長生郡市広域市町村圏組合では、消防団を中心とした防災リーダーが地域防災力の要として活動しているが、新入団員の減少に伴い、団員の高齢化が進み、団員数が不足している。また、若い世代に対する広報活動が十分でないために消防団の活動内容に対し理解を得られていない現状がある。

○消防団（消防団数 1団本部、9個支団、32個分団、108個部、団員数1,491人（条例定数））

（平成18年度から消防団員数は、条例定数1,491人に対して減少している。（平成27年度1,472人（19人減））

（消防団員平均年齢 平成27年度 36.0歳）

② 基本方針

長期的に活動できる若い世代に対して、消防団の加入を促進し、特に学生や現役世代の割合を増やし、消防団の活性化を図る。

③ 目標（平成31年度末まで）

消防団員数を条例定数1,491人まで増やす。平均年齢を34.3歳まで下げる。

④ 具体的な取組

新成人、学生及び消防団協力事業所新入社員に対しての、消防団入団促進事業を実施する。